

科目名		灸実技 3							年度	2025	
英語科目名		Moxibusstion Practice 3							学期	前期	
学科・学年		鍼灸科 2 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員		安齋 勉		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
<div>【科目の目的】</div> <div>・灸治療に必要な艾炷を素早くひねれるようにする。<div>・緩</div></div> <div>和操作方法を使い分け、熱量のコントロールが出来るようにする。</div> <div>・1 年次とは違う知熱灸を習得する。</div>											
<div>【科目の概要】</div> <div>素早く、柔らかく艾炷ひねれるようにするため、竹筒を用いた練習をする。</div> <div>熱量をコントロールするため、空気量調節緩和法と押し込み緩和法を独自の練習用紙で習得する</div> <div>1 年次とは違う大きさ、形の知熱灸を作成し、手際よく出来るようにする。</div>											
<div>【到達目標】</div> <div>A: 竹筒に 5 分間で 1 0 0 壮の艾を竹筒にひねれるようにする。<div>B: 竹</div></div> <div>筒に張ったティッシュの穴の数が 5 % 以下にする。</div> <div>C: 2 種類の緩和操作の意義を理解し、実践できる。</div> <div>D: 独自で作成した緩和操作確認シートの合計点数が 3 0 点以上になる。</div> <div>E: 知熱灸が同時に 4 個以上点火できる。</div>											
<div>【授業の注意点】</div> <div>授業日数の 4 分の 3 以上出席にないと実技試験が受けられません。また、技術習得に必要な提出課題や予習等を必ずすること</div>											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力						
到達目標 A	1 0 0 壮以上ひねることが出来る	1 0 0 ～ 8 0 壮ひねることが出来る	8 0 ～ 6 0 壮ひねることが出来る	6 0 ～ 5 0 壮ひねることが出来る	5 0 壮未満しかひねることが出来ない。						
到達目標 B	穴の数が 5 % 以下	穴の数が 1 0 % 以下	穴の数が 1 5 % 以下	穴の数が 2 0 % 以下	穴に数が 2 5 % 以上						
到達目標 C	2 種類の緩和操作を習得し、思い通りの熱コントロールが出来る	1 種類の緩和操作で思い通りの熱コントロールが出来る	2 種類の緩和操作の形は出来る	1 種類のみ緩和操作の形は出来る	2 種類とも出来ない						
到達目標 D	緩和操作確認シートの点数が 3 0 点以上になる	緩和操作確認シートの点数が 2 0 ～ 3 0 点の間になる	緩和操作確認シートの点数が 1 0 ～ 2 0 点になる	緩和操作確認シートの点数が 1 桁の点数しか取れない	緩和操作確認シートの点数が 0 点になる						
到達目標 E	知熱灸が同時に 5 壮以上同時に点火できる	知熱灸が同時に 4 壮点火できる	知熱灸が同時に 3 壮点火できる	知熱灸が同時に 2 壮点火できる	知熱灸が 1 壮しか点火出来ない						
<div>【教科書】</div> <div>はりきゅう実技（基礎編）東洋療法学校協会編、自作プリント</div>											
<div>【参考資料】</div> <div>経絡経穴概論 医道の日本社編</div>											
<div>【成績の評価方法・評価基準】</div> <div>実技試験（5 0 %）、竹筒点火数（2 0 %）事前課題の提出（1 0 %）、当日課題の提出（1 0 %）、出席状況（1 0 %）</div>											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

